

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 19 日作成)

小委員会名	ワークプレイス研究小委員会	主 査 名：仲隆介 就任年月：2005 年 4 月																																															
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生 主 査 名：																																															
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月																																																
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>人々の働き方や働く場所が多様化する社会状況に対応して、単にオフィスビルにとどまらず様々な業態の働く場を「ワークプレイス」という概念を用いて、横断的・包括的に研究を展開し、これからの「ワークプレイス」のあり方を提案する目的で研究活動と研究交流を行う。</p> <p>2004 年度 各業態のワークプレイス調査を分担して実施 2005 年度 調査の補足と討議 2006 年度 研究結果のまとめ、シンポジウム等の開催</p>																																																
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有																																																
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">主査</td> <td style="width: 40%;">仲 隆介</td> <td style="width: 50%;">9720893 京都工芸繊維大学 繊維学部デザイン経営工学科</td> </tr> <tr> <td>幹事</td> <td>桑原 滋</td> <td>7110832 (株)NTTファシリティーズ FMサービス事業部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>秋元 馨(公募)</td> <td>8012784 横浜国立大学 工学部建設学科建築学教室</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鯨坂 徹</td> <td>9128669 (株)三菱地所設計 第一設計部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>沖塩 莊一郎</td> <td>5200085 東京理科大学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加藤 達夫</td> <td>会員外 (株)グローバルFM研究集団</td> </tr> <tr> <td></td> <td>嶋村 仁志</td> <td>6704479 千葉工業大学 工学部工業デザイン学科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白石 光昭(公募)</td> <td>8108925 小山工業高等専門学校 建築学科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>谷口 元</td> <td>名古屋大学大学院工学研究科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>恒川 和久</td> <td>9608766 名古屋大学大学院工学研究科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>古阪 幸代</td> <td>会員外 インターオフィス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柳澤 忠</td> <td>5804096 (有)建築計画連合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柳父 行二</td> <td>9328405 大阪ガス(株) 技術部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>矢部 昌洋(公募)</td> <td>8902159 コクヨオフィスシステム(株)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>吉田 邦彦</td> <td>5802396 愛知淑徳大学現代社会学部 都市環境デザインコース</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">計 15名</td> </tr> </table>		主査	仲 隆介	9720893 京都工芸繊維大学 繊維学部デザイン経営工学科	幹事	桑原 滋	7110832 (株)NTTファシリティーズ FMサービス事業部		秋元 馨(公募)	8012784 横浜国立大学 工学部建設学科建築学教室		鯨坂 徹	9128669 (株)三菱地所設計 第一設計部		沖塩 莊一郎	5200085 東京理科大学		加藤 達夫	会員外 (株)グローバルFM研究集団		嶋村 仁志	6704479 千葉工業大学 工学部工業デザイン学科		白石 光昭(公募)	8108925 小山工業高等専門学校 建築学科		谷口 元	名古屋大学大学院工学研究科		恒川 和久	9608766 名古屋大学大学院工学研究科		古阪 幸代	会員外 インターオフィス		柳澤 忠	5804096 (有)建築計画連合		柳父 行二	9328405 大阪ガス(株) 技術部		矢部 昌洋(公募)	8902159 コクヨオフィスシステム(株)		吉田 邦彦	5802396 愛知淑徳大学現代社会学部 都市環境デザインコース	計 15名	
主査	仲 隆介	9720893 京都工芸繊維大学 繊維学部デザイン経営工学科																																															
幹事	桑原 滋	7110832 (株)NTTファシリティーズ FMサービス事業部																																															
	秋元 馨(公募)	8012784 横浜国立大学 工学部建設学科建築学教室																																															
	鯨坂 徹	9128669 (株)三菱地所設計 第一設計部																																															
	沖塩 莊一郎	5200085 東京理科大学																																															
	加藤 達夫	会員外 (株)グローバルFM研究集団																																															
	嶋村 仁志	6704479 千葉工業大学 工学部工業デザイン学科																																															
	白石 光昭(公募)	8108925 小山工業高等専門学校 建築学科																																															
	谷口 元	名古屋大学大学院工学研究科																																															
	恒川 和久	9608766 名古屋大学大学院工学研究科																																															
	古阪 幸代	会員外 インターオフィス																																															
	柳澤 忠	5804096 (有)建築計画連合																																															
	柳父 行二	9328405 大阪ガス(株) 技術部																																															
	矢部 昌洋(公募)	8902159 コクヨオフィスシステム(株)																																															
	吉田 邦彦	5802396 愛知淑徳大学現代社会学部 都市環境デザインコース																																															
計 15名																																																	
設置 WG (WG 名：目的)	なし																																																
2005 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：																																															

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</p>	<p>1. 第1回 ワークプレイス研究会 - オフィス環境とコミュニケーション 参加者数 35名</p>
<p>大会研究集会</p>	<p>なし</p>
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	<p>なし</p>
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 前年度の調査をベースに公開研究会(テーマ:コミュニケーション)を開催し、参加者を交えた活発な議論を展開し、今後のテーマを掘り下げていく上で多くの示唆をえた。当初の計画に沿って進んでいると考える。 2. 次のステップである分野を越えた研究交流を深めるべく研究会を重ねていく予定であり、鋭意、第2回を企画中である。 補足: テレビ会議システムを利用して(実績2回。)遠隔地委員の参加を増やし、小委員会活動の活発化を図っている。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。